

「江差の五月は江戸にもない」と
ニシン漁で栄えた商人の街でもあります。
車で約20分のところにある江差町。

今も残している江差町を訪ねました。言われたほど栄えていた当時の様子を

で連載をして頂いており、いつも大いですから中へどうぞ。」 そういって温かく迎えてくれたのは、375年の歴史を誇る嶽浄山は、375年の歴史を誇る嶽浄山で連載をして頂いており、いつも大変お世話になっていました。寒

「江差はとても歴史が古い街です。きたいと思って来ました。よろしくきたいと思って来ました。よろしくお願いもまと江差の歴史を教えて頂

ので周りは皆、大変驚いてましたね。」て375年。私で3代目になります。すが、養父に跡継ぎがなかったのですが、養父に跡継ぎがなかったので神きというのは世襲制ではないので禅寺というのは世襲制ではないので温りは皆、大変驚いてましたね。」

齢と同じ耐久年数があると言われ樹齢220年のヒバの棟木。ヒバは樹す。玄関を入ってすぐ目につくのはな価値を持つものが数多くありまな価値を持つものが数多くありま正覚院がもつ375年という歴史

HOKKAID



嶽浄山正覚院の松村俊昭住職。



窓から鴎島が良く見えるこの場所は、五木寛之氏のベストセラー「青春の門」で主人公 が居候していた舞台にもなりました。

江 あ



樹齢220年のヒバを使用した棟木。樹齢と同じ年数の耐久性があるといわれてい

のは江戸末期の頃でしょう。江差へ あと110年はもちますよ。」と教 言われたほどニシン漁が盛んだった えて頂きました。 110年前に伐採したものなので、 ているそうです。「このお寺の棟木は 航海で江戸での1年分の稼ぎを 江差の五月は江戸にもない、 といった都市へ政治・経済の中心 と共に町の繁栄に貢献しました。 化遺産として残されています。 建てられた中村家も、町の大切な文 を残してくれましたね。 産地としても栄え、ニシンの交易 また江差町はヒバ(ヒノキアスナロ 近江商人の大橋宇兵衛によって かし明治に入ると札幌や函

てしまいましたが、当時の活況はた 今では人口1万人足らずになっ

にはペンペン草も生えない』と言われ ますが、江差にはたくさんの文化財

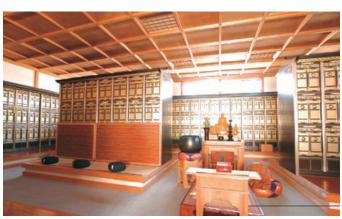
していました。よく『近江商人の跡

からもたくさんの商人が出入り げることが出来たそうです。近

移っていき、江差は少しずつ衰退

館 が

いったそうです。



板の間が畳に早替わり。ここで25年前から月に1度行われている朝粥の会が開か れます。



横山家 「江差の五月は江戸にもない」といわれたほど ニシン漁が栄えていた頃建てられた鰊御殿。今から160 年前に建てられ、北海道文化財に指定されています。



中村家 江戸時代に近江商人の大橋宇兵衛によって 建てられました。当時の建築様式の代表的な造りです。



ウロコイ辻薬局 土蔵をイメージした外観はいにしえ街 道の雰囲気をいっそう盛り上げてくれています。店内では 昔土蔵に使われていた梁をベンチとして再利用しています。

繁次郎 大変とんちに長けていて、町中に笑いを振りまいていた人気者だったそうです。 口癖は「笑え、笑え、へば、ええごとある。(笑いなさい、笑いなさい、そうすれば、いいこと がありますよ。)」

ます。 4 は民謡を愛する人にはたまらなく 世に残していくために、私は今『 も感動します。こんなに美しくて貴 特に日本海に沈む夕日は何度見て さんの素晴らしい宝物があります 分をはじめ、この町には本当にたく 魅力的なものなのでしょう。 江 00年後もこの自然を残していこ しいですね。情緒豊かな江差追分 な景観がある江差という街を後 の森』という計画を推進 差追分に終わる、と言われている 民謡の道は江差追分に始まって 作家の立松和平さんと一緒に、 江差追 してい 古

住

まってくるんですよ。」

シーズン中の江差追分会館では、

会』には全国からたくさんの人

ハが集

毎年行われる『江差追分全国

大

ったそうです。

さらに江差に伝わり、現在の基にな 唄がはやり、越後に伝わった舟歌が に信州中仙道で唄われていた馬子 的にも有名な江差追分は、この時代 いへんなものだったようです。全

分の話を聞くことも出来るそうです。 とが出来る他、地元の師匠達から追 歴代の優勝者や師匠の実演を聞くこ

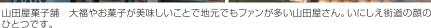
いにしえ街道 江戸期からの歴史的建造物が建ち並ぶこの通りを、15年かけて修復、

新築して出来た街道。旧国道沿いに1.1kmにわたって続いています。

古い歴史を持ち、全国的にも有名な「江差追分」を学び体感出来る施設と して、1982年に建設されました。

ご協力をいただきました。どうもあ 正覚院の松村俊昭住職に多大なる 来を垣間見た気がしました。 職 そう言って楽しそうに笑う松村 なお今回のぶらり旅では、嶽浄 のお言葉に、江差町の明るい 未 Ш

ヮがとうございました。





鳴海土蔵 明治初期に建てられた石積み土蔵。所有者は私どもナルミの会長である鳴海亘の親戚にあた ります。歴史的景観形成建物に指定されています。



はなりません。大ロマンですね(笑)。 397年の育樹と植樹をしなくて ちょうど3年経ちましたから、

は全国で10箇所の植樹地の3番目。 う、とヒバを植えているんです。江差

あと